

酒田駅前交流拠点施設「ミライニ」  
酒田市直中央図書館インテリア基本・実施設計

所在地： 山形県酒田市  
発注者： 酒田市  
共同設計者：アール・アイ・エー  
期間： 2018-2020  
対象区域： 約5,250㎡(中央図書館含むA棟全体)

酒田駅前の再開発エリア「光の湊」の中の交流拠点施設「ミライニ」の酒田市直中央図書館のインテリア設計。地域に開かれた“まちのような図書館”を空間づくりのコンセプトとして、1階、2階共に、吹抜けや家具の配置を工夫し、活動の可視化と、回遊性に配慮した計画としている。

1階には、酒田駅側のエントランスからホテルの出入口に繋がる都市空間の一部としてL字型大吹抜けのラウンジを配置し、リビング・スペースを介して児童エリアが、縁側ラウンジを介して企画コーナーが見通せる他、大吹抜けと随所に設けた吹抜けにより、1階と2階も視覚的に繋がるデザインとした。

コミュニティセンター的な1階の空間に対し、2階には、閲覧専用の「しずかな部屋」や、吹抜けに面した長大な閲覧カウンターの他、グループ学習やワークショップ用のアクティブラーニング・スペースを設ける等、新しい図書館の空間づくりをしている。

「しずかな部屋」の内装とテーブル、各カウンター、書架、ベンチ、ソファ、杉玉ボール等には、“地場産の杉材”を活用し、木のぬくもりを感じながら多世代が快適に利用できるデザインとしている。山居倉庫を模した児童エリアの“トンガリ・ベンチ”、刺し子のマットレス、“お米テーブル”は、「酒田市らしさをデザインに」との要望に応えたものである。

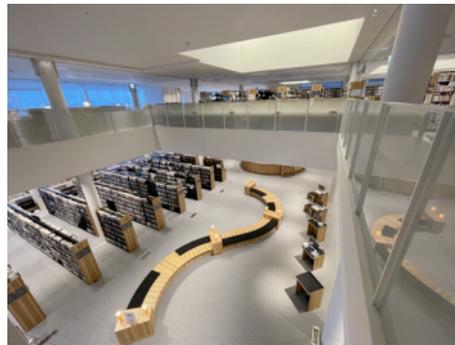
市の星空をイメージさせる児童エリアと吹抜けのペンダント照明は、形状や配置をランダムにすることで、固くなりがちな図書館の空間全体に、楽しいひかりの空間を創り出している。



リビング・スペースを介して見える児童エリア



「ミライニ」外観



吹抜け下にある“S字閲覧ソファ”



「おはなしの部屋」と“お米テーブル”



“縁側ベンチ”



- |   |   |  |
|---|---|--|
| 1 | 2 | 1. 木玉プールとトンガリベンチ                               |
| 3 | 4 | 2. し字型の大吹抜け<br>3. 吹抜けに面した2階閲覧スペース<br>4. しずかな部屋 |